

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3041	(H.24)No.	3041
-----------	------	-----------	------

事務事業名		生ごみ処理機器購入費補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先	
生活環境部	環境対策室	名和健治	63-7496	
新・継	事業期間	根拠法令等		
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度	生ごみ処理機器購入費補助金交付要綱		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施 策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小 施 策	1	ごみの減量化
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	271508
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	ごみゼロリサイクル推進事業
項	清掃費	(小事業名)
目	ごみ対策費	生ごみ処理機器購入費補助金

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・燃やすごみに含まれる生ごみを資源化、減量化するため、生ごみ処理機器等を購入する家庭に対し補助金を支出します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>・ごみの減量化、資源化を進めることにより、真のごみゼロ社会の構築を目指します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<p>・生ごみ処理機器等購入費補助金 80件 560千円 電動生ごみ処理機 18件 コンポスト 35件 せん定破砕機 27件</p>	<p>・生ごみ処理機器購入費等補助金 500千円</p>	補助金・交付金		
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
			・生ごみ処理機器購入費等補助金	・生ごみ処理機器購入費等補助金	・生ごみ処理機器購入費等補助金
直接事業費	560千円	500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 560	500	1,500	1,500	1,500
人工数	職員	0.28人	0.15人	0.15人	0.15人
	臨時職員等	0.30人	0.23人	0.23人	0.23人
概算人件費	(0千円) 2,554千円	1,486千円	1,486千円	1,486千円	1,486千円
+ 総事業費	(0千円) 3,114千円	1,986千円	2,986千円	2,986千円	2,986千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		361	137	74	80	-
成果指標	目標	g	-	-	-	-	959.0
	実績		1,006.4	923.5	900.0	902.7	-
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムにおいて、生ごみの資源化収集及び平成22年度、平成23年度の試行収集により、生ごみ処理機の購入控え傾向が見られた。また、草木類の資源化を推進するため、平成23年度よりせん定枝破砕機を補助対象に追加した。	生ごみの行政による資源化収集が先送りになるなら、補助金を充実する必要がある。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムにおいて、本格的な生ごみの資源化収集が先送りとなってきている。	資源循環型社会の構築、ごみゼロ社会を目指す、節電・省エネルギーへの市民の課題意識が高まりつつある。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	補助率、補助限度額の見直し。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域ぐるみでの生ごみ等の資源化の推進。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムの行動計画に明記している。

特記事項